

Lend a Hand
手を貸そう国際ロータリー第2750地区多摩東グループ
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2004-5-19 第652回例会 NO.14-41 2004-5-26 発行

◎司会 SAA委員会 宮本 誠

◎次年度会務報告 次年度会長 菊池 敏

<報告事項なし>

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎ロータリーソング「それでこそローリー」

ソングリーダー 菊池 敏

【委員会報告】

◎お客様紹介 会長 大松 誠二

出席委員会 杉田 誠

- ・多摩市くらしと文化部部长 曾我 好男 様
- ・岡山西南RC 椎原 裕二 様

◎出席報告

- ・会員総数 42名
- ・出席義務者数 41名(出席免除者1名)
- ・出席者数 29名
- ・欠席者数 12名(事前MU2名)
- ・出席率 75.61%
- ・欠席者:阿部 華歌、平野 行廣、伊澤ケイ子、小林 正、小泉 博、小坂 一郎、根本 泰守、澄川 昇、高野 範城、津守 弘範、海野 榮一、由井 眞司
- ・補填MU:杉野志保子 5/10 地区協議会
伊澤ケイ子 5/17 地区補助金委員会
海野 榮一 5/10 地区協議会

◎会務報告 会長 大松 誠二

- ・私たちの今年度の任期も後1ヶ月余りとなりましたが、役員理事と会長・幹事は、次年度菊池会長年度にバトンをスムーズに渡せるように、残りの任期を全うしようと思っています。各委員長の方々も、是非今年度の所期の目標達成のために、ご努力、ご協力をお願いします。
- ・例会後、定例理事会を事務局にて開催します。お集り下さい。

◎幹事報告 幹事 藤本 吉文

- ・大阪国際大会に参加される方は電車の切符を忘れないようにご集合下さい。
- ・5月13日稲城RC例会場にて開催の多摩東グループゴルフ、野球幹事会に出席いたしました。
- ①秋の親睦ゴルフコンペの日程は、まだ決まっていません。
来年度春の親睦ゴルフコンペの日程は平成17年5月26日(木)の予定です。
- ②野球大会の日程が決まりました。
1回戦 平成16年9月9日(木)
2回戦 平成16年9月16日(木)
決勝戦 平成16年9月30日(木)
私たちのクラブの1日目の対戦相手は狛江、たまがわRCの混合チームです。

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 加藤喜三郎

- 大松 誠二 多摩市曾我部長卓話宜しくお願ひします。
- 藤本 吉文 北村さん、久しぶりですね!! 菅平高原の景色とゴルフ場を思い出します。
- 北村 幸彦 ご無沙汰しており、申し訳ありません。
- 足立潤三郎 曾我部長、卓話宜しくお願ひします。
- 萩生田政由 曾我部長様、卓話楽しみにしています。
- 菊池 敏 久しぶりです。北村さん!
- 田島真由美 北村さん、お久しぶりです。
- 杉野志保子 世界大会よろしく。私は札幌で日本義肢協会総会です。
- 加藤喜三郎 多摩市くらしと文化部長の曾我様、卓話楽しみです。

本日の合計¥12,000 (累計¥834,061)

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagro@cello.ocn.ne.jp【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階
【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30
【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文
【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝
【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澁川昇・高木淳光・由井眞司・小田泰機

◎大阪国際大会 国際奉仕委員会 吉沢 洋景

- ・大会参加の方には事前配布書類の入った封筒をお渡ししています。尚、スケジュール、登録ネームカードは新幹線にてお渡しします。新幹線切符、関西パス等当日忘れないように注意して下さい。
- ・当日の集合は多摩センターに6時30分です。また、傷害保険は保障期間を4日間に延長してあります。

3. 新たな支え合いのしくみづくり

- (1) 子育て・子育て支援
- (2) 高齢者・障がい者施策
- (3) 多摩センターの活性化
- (4) 安全・安心な都市環境

◎点鐘

会長 大松 誠二

(例会担当：正房 正孝)

◎卓話「多摩市行財政の再構築について」(骨子)

多摩市くらしと文化部部长 曾我 好男様



1. 今、なぜ、見直しが必要か？

(1) 今の多摩市の状況は

財政状況は急激に悪化。平成14・15年度と税収は急激に減収し、高齢者関係や生活保護費等の社会保障制度に伴う扶助費は増大。歳入に合わせ、歳出を見直す必要がある。

(2) 明日を切り拓くため

明るく活力のある高齢社会に向け、市民・行政・民間での役割の見直し、協働によるまちづくりの必要性がある。

- ① 眼前に迫る公共施設の対応策
- ② 行政が税金を使って提供すべき行政サービスの守備範囲
- ③ 特に重点的に検討すべき課題(補助金のあり方、サービス水準のあり方)
- ④ 特に早期に方向性の結論を出すべき個別事業・施設

2. 行財政再構築の第1歩(平成16年度予算概要)

- (1) 職員定数の削減と人件費総額の抑制
- (2) 補助金の見直し
- (3) 事業・施策の見直し
- (4) 歳入確保・特別会計の健全な運営・税源移譲
- (5) 財務体質の改善

第95回国際ロータリー一年次大会参加速報

5月23日(日)早朝、一部夫人同伴を含む20名の会員は多摩センター集合。東海地方の一部に激しく降りしきる雨の中、現地の天候を些か気に掛けながら「のぞみ5号」は一路大阪へ向かう。現地に雨はなく、開会式場の大阪ドームへ向かう人波は途切れることがなかった。開会式は定刻を30分遅れてスタートしたが、登録47,000人を超えてドームのグラントから3階席まで埋め尽くした世界のロータリアンからは、開会を急かすブーイングにも等しい拍手が再三にわたり湧き起こった。世界的に会員数が減少する中でこの記録的な盛況は、「ロータリー100年」を目前にして組織の健在は示されたといえる。



開会の遅れから、マジニアベR I会長の挨拶と歴代会長の紹介もそこに富田林の宿泊先へ向かわざるを得なかったことは残念だったが、「国際ロータリー」を心に焼き付けることができたことは確かだった。

さて、「かんぼ富田林」では椎原氏に代表される岡山西南RCの“9人の不思議なロータリアン”との懇親会が盛り上がった。



翌日は現地解散で自由行動。早朝から“9人の不思議なロータリアン”とのゴルフ組。神戸へと足をのぼす一団。そして、ほんの一部は「友愛の家」へと思い思いだった。

<参加者>

- (ツアーリーダー) 吉沢 洋景
(会長) 大松 誠二 (幹事) 藤本 吉文
足立潤三郎、遠藤 二郎、萩生田政由、
伊藤 英也、伊澤ケイ子、菊池 敏、
宮本 誠、村上 久、澄川 昇、
田島真由美、田中 實 (タツ夫人)、
海野 栄一、内田 凸 (和子夫人)、
檜垣 昭、赤尾 恭雄、以上 20 名
(コーナー担当: 赤尾 恭雄)

ポール・ハリスを我々の心に! Part 49

国際ロータリーは 1945 年、サンフランシスコの「国際連合設立準備会議」に際して、アメリカ国務省より顧問および顧問補佐の派遣方を要請された。合計 11 名のロータリアンが顧問または補佐の資格で会議に参加した。記録によると、11 名のロータリアンは国際憲章起草委員

として、各国より派遣された代表者の考え方に大きな影響を与えた。

当時、アメリカ国務長官であったエドワード・R・ステティニアス二世は次のように述べた。「国際ロータリーに対し、アメリカ代表団の顧問として、国際連合の会議に出席を要請したのは、ただ単に大組織としてのロータリーに儀礼的な敬意を表するためではなく、クラブの会員が国家間の相互理解推進のために尽くされ、引き続き将来も努力されようとしている行動力を評価したからにはほかなりません。ロータリー代表はサンフランシスコ会議に欠くことのできない存在でありました。そして国連憲章、中でも経済社会理事会の会則作成に当っては、重要な役割を果たされました」と。

更に、各国のロータリアンも、それぞれ自国の正式代表として参加し、活発な論陣を張った。1945 年当時の国際ロータリー会長を勤めた、イギリスのトマス・A・ワレン氏は、「サンフランシスコ会議に出席した各国代表のうち、7名の団長と 20 数名の代表がロータリアンであったことは、世界が我々ロータリーの使節団を必要とした確たる証拠です。更に、何百万もの高校生や大人達に親善の必要性を説いた国際理解に関する講演会を始め、いろいろな講義、ラジオ番組、文献、炉辺談話グループ等、ロータリーの幅広い実践活動は、世論の形成に大きな影響を与えています」と語った。イギリス教育界の権威でもあるワレン会長のこの言葉に、世界 60 か国のロータリアンは非常に意を強くした。



トマス・ワレン会長は、教育のみが国際問題を解決できる、唯一永遠の手段であることを信条としていた。いかに有能で信望ある指導者が戦争回避の努力を払っても、間違っただけで教え込まれたり、或は、感情が高ぶっている国民の反対を受ければ、その努力が実を結ばないこともあると判断、一番安全な戦争回避方法は、一般教育の程度を最高水準まで高めることだと主張していた。

(コーナー担当: 赤尾 恭雄)

『ロータリー知識』 入門編
「楽しい例会にするには」

人の心というものは、普段はいろいろ鎧を着ております。地位とか名誉とか財産とか、あるいは血筋とか学歴とか肩書きなど無数の“自分ではないもの”が心を包んでおります。先ごろ私は、たまたまお茶のグループの五十周年記念のお茶会に出たのでありますが、お茶席には露地の飛び石や蹲やにじり口などのさまざまのしつらえがございます。そこを通ることによって参会者たちの心を次第、次第に裸にしてまいります。つまり心の鎧を上手に一つ一つ脱がせて行くのです。武士であれば大小を取り去ります。町人であれば心の中の算盤を、このときばかりは忘れ去ります。お茶席の悦びというのは、こうしてすっかり鎧を脱いで赤ん坊のように裸になった亭主と客とが、一碗の茶を介して心を触れ合い、ひびき合わせる悦びなのです。裸の心を一言で申せば、初心であります。人間の生まれたままの心というのは、ポール・ハリスが自叙伝の中で述べております。「少年の心」と同じものでございます。寛大で親しみにあふれ、人様のためにになりたいという素朴な願いがごく自然に魂を輝かせているものです。こうした初心に戻ることができた人々が、ロータリーの例会で語り合うならば、それは巧まずして楽しい例会になるはずでございます。頭の中であれこれと、例会を楽しくするにはどうしたらいいだろうかと考えて、無理に演出したような楽しさを生み出してみても、それは自然に出てきた楽しさでございませぬから、長続きしないのではないのでしょうか。ちょうど空港で持ち物検査のためにくぐらされるようなゲートを例会場の入口にこしらえてみてはどうでしょうか。その門をくぐる者は心の鎧を何もかも捨てさること、という約束をするのです。こうしてけがれの無い、少年のような心になってこそ、例会場がくつろぎの場となり、やわらかい心の交流、お互いの心のひびき合いも実現するのだと思います。それが本当に「楽しい」例会であります。

<森三郎「私のロータリー」(1991)から。>

第 2570 地区(PDG)(寄居 R.C.)

(コーナー担当：遠藤 二郎)

★「ロータリーの友」拾い読みコーナー★

5月号 《友愛の広場》より

高齢会員の一人暮らし

余目RC 佐藤 孝二郎 氏

(第 2800 地区 山形県 稲作栽培)

運命は、その人の生涯のもので、他人に転嫁することはできないし、他人からも頂けない。ただ、運命に流されることなく、自分の運を切り開くことはできる。それはその人の努力と才能であり、かなりの忍耐も必要だ。大勢のロータリアンは、それをやり遂げてきた成功者であるが、高齢者になると、その行く末は全く安定しなくなるから怖い。自分の力や努力では支えきれない運命が予想される。独居老人が、ロータリアンからもでるといふ事実である。

私も来年、88歳(米寿)の輝かしい?お祝いを受けるが、自分がどんな立場にあるかを考えないと、平和な人生を求めても得られない結果で終わることが予想される。私は今、病妻の看病に力を尽くしている。それは独居を避けるためである。私の努力で妻の命が長引けば、独居の寂しさからも、いら立たしさからも救われると思うと、看病にも力が入るといふものだ。妻は今のところ、あまり動けないだけで、何とか自分の始末はできる。生きてさえいてくれたら、という本音もあって、安どしている日常である。

妻が死を迎えた場合、自分はどのようにして運命を切り開いていけばいいのか。男性は、生活に順応性がないので、女性のようにうまくは暮らせない。大変な苦勞がつきまとうし、これが自分に課せられた試練だと思い、あきらめるまでには相当の月日がかかる。その間の苦しみから自暴自棄に落ちて命を縮める者が意外と多いのである。私は、そのような状況に陥らないために、歯止めを平穩なうちから考えておく必要があると深く考慮し、こんな手立てをしよう決心している。

第一には、孤独感をもたないように、気を紛らわす手段を考えておくことである。それは動くことである。体を動かす、心を動かす、仕事、作業、趣味、楽しければなおいいのだから、心も体も熱中してみることだ。

次は、気分転換のための団体旅行。新しい友を得ることができるいい機会だ。そのほか、同性でも異性でも、分け隔てなく付き合い、日常生活では、身の回りや食事にも節度を守り、ロータリーの例会には皆出席を心がけ、くどきは一切しないこと。そして、世話好きのやさしい心で人に接したいものだ。

最後に、身内、肉親へは親愛の情をもって接し、毎日、開放的で軽やかな生活を心がけることが大切であると思ふ。

(コーナー担当：正房 正孝・高木 淳光)